

当社取締役会の実効性に関する評価結果の概要について

当社では、コーポレート・ガバナンスの実効性を高めるための取り組みの一環として、取締役会の運営の改善・機能向上を目的に、取締役会の実効性に関する評価を毎年実施しております。2025 年 3 月期に実施しました実効性評価について、以下のとおり概要をお知らせいたします。

1. 実施内容

取締役会を構成する取締役・監査役（全 12 名）を対象にアンケート形式で調査を実施しました。2025 年 3 月期においては、前年に引き続きその実効性を中立的・客観的に検証するため、外部機関を活用したアンケートを実施し、その集計結果に基づく分析報告を踏まえ評価を行いました。

- 【評価項目】 : 2025 年 3 月期における当社取締役会の実効性について（全 40 問）
- ・ 取締役会の構成、運営、議論、モニタリング機能
 - ・ 社内・社外取締役のパフォーマンス
 - ・ 取締役・監査役に対する支援体制、トレーニング
 - ・ 株主（投資家）との対話
 - ・ コーポレート・ガバナンス委員会（指名・報酬委員会）の運営
 - ・ その他
- 【回答方法】 : 5 段階評価および自由回答
- 【分析・評価】 : 外部機関により回答を集計し、その分析結果を当社のコーポレート・ガバナンス委員会で検討し、取締役会で評価する

2. 分析・評価結果

- ・ 全体として概ね肯定的な評価が得られており、取締役会の実効性が確保されていると判断しました。
- ・ 一方で、全体的な評価は良好であるものの、前回と比較して評価が大きく変わった項目はなく、課題とする項目の改善が引き続き必要であることを確認いたしました。
- ・ 改善が必要な課題としては、経営戦略や経営上の重要な項目に関する課題や取り組みに対して、更なる議論の深化を求める意見や、取締役会への報告に関してもう少し重要項目に絞った報告をしてはどうかという意見が社外役員を中心に見られました。

- ・また、取締役会の開催回数が他社比較で少ないとの意見が社外役員から上がっており、経営上の重要な課題について更なる議論を行うためにも、取締役会の運営改善が必要であることを確認いたしました。
- ・取締役会における議論について、社外役員から活発な意見が見られる反面、社内取締役に対しても活発な議論を求める意見が社内外の役員から見られました。
- ・上場会社を取り巻く環境が日々変化する中で、役員に求められる知識や情報に関するトレーニングの機会提供や、社外役員に対しての定期的な工場やマーケットの視察を望む意見を確認いたしました。

3. 実効性向上へ向けた今後の取り組み

本実効性評価を踏まえた今後の取り組みについては、経営課題に対する議論の深化に向けて、取締役会の開催回数や議案・報告事項等のテーマ設定の工夫など、運営面における改善や、役員に求められる役割と責務を果たすために必要とする知識の習得機会に対する支援体制の強化等、取締役会の実効性を高める取り組みを継続的に進めてまいります。

以上